

ロシア軍のウクライナ侵攻に強く抗議し、恒久平和を求める決議

世界中が新型コロナウイルス感染症への対応に追われている最中、ロシア軍は、2月24日早朝（現地時間）、国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナへの全面的な侵攻を開始した。さらにその後、民間人を含め多数の犠牲者を出し続けている。ロシアは国連の常任理事国という立場でありながら、これは明らかに国連憲章に違反し、世界の安全保障と国際秩序を脅かす侵略であり、断じて容認できない暴挙である。

また、プーチン大統領は核兵器の使用をちらつかせるなどし、ウクライナのみならず全世界を恐怖におとしめている。

このままでは世界大戦の危機さえ予想せざるをえない事態となり、該当国周辺、ひいては全世界、アジアと我が国の国民の生命と財産を巻き込む可能性がある。

2017年の北朝鮮によるミサイル危機の折、本市は県内で一番初めにミサイル想定避難訓練を行うなど、市民の命を守るという気概を内外に発信してきた。

よって、大野城市議会は、ロシア軍による攻撃とウクライナの主権侵害に強く抗議するとともに、ロシア政府に対し、武力行使の即時停止とウクライナ領土から直ちに全ての軍隊を完全に撤退させること及び誠実に国際法を遵守し、平和的に対応することを強く求めるものである。

以上、決議する。

令和4年3月14日

大 野 城 市 議 会